



## 2026年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年1月13日

上場会社名 株式会社MORESCO 上場取引所 東  
 コード番号 5018 URL <https://www.moresco.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 両角 元寿  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 (氏名) 藤本 博文 (TEL) 078-303-9220  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

### 1. 2026年2月期第3四半期の連結業績 (2025年3月1日～2025年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
2026年2月期第3四半期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期第3四半期	25,573	△1.3	1,671	50.2	1,798	32.3	1,175	43.4

(注) 包括利益 2026年2月期第3四半期 705百万円(△44.9%) 2025年2月期第3四半期 1,278百万円(△45.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2026年2月期第3四半期	円 銭 128.05	円 銭 —
2025年2月期第3四半期	89.32	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
2026年2月期第3四半期	百万円		百万円		%		円 銭	
2025年2月期	37,822		25,293		58.1		2,395.16	

(参考) 自己資本 2026年2月期第3四半期 21,981百万円 2025年2月期 21,685百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年2月期	円 銭 —	円 銭 20.00	円 銭 —	円 銭 25.00	円 銭 45.00
2026年2月期	—	20.00	—	—	—
2026年2月期(予想)				25.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2026年2月期の連結業績予想 (2025年3月1日～2026年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益	
通期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有  
新規 1社 (社名) MORESCO LUBE MEXICANA S.A. DE C.V. 、除外 1社 (社名) 無錫德松科技有限公司

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年2月期 3Q	9,696,500株	2025年2月期	9,696,500株
② 期末自己株式数	2026年2月期 3Q	519,320株	2025年2月期	525,810株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年2月期 3Q	9,174,392株	2025年2月期 3Q	9,170,497株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

業績予想は本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。

実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。

(決算補足説明資料の入手方法について)

2026年1月20日に当社ホームページに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	3
2. 四半期連結財務諸表および主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書および四半期連結包括利益計算書 .....	6
(四半期連結損益計算書) .....	6
(第3四半期連結累計期間) .....	6
(四半期連結包括利益計算書) .....	7
(第3四半期連結累計期間) .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動) .....	8
(会計方針の変更) .....	8
(セグメント情報等) .....	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	9
(重要な後発事象) .....	9
3. 補足情報 .....	10
(1) 製品およびサービスに関する情報 .....	10
(2) 海外売上高 .....	11

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当四半期連結会計期間におけるわが国経済は、米国の関税の影響により企業収益は前期から減少したものの、エネルギーコストの低下や円安による海外収益の増加により利益は増加傾向となっています。世界経済においては、中国の景気減速に加え、米国による関税政策が世界経済に及ぼすマイナスの影響が顕在化しつつあり、製造業の生産活動の足かせとなっています。また、ウクライナ戦争の和平交渉の停滞、米国とベネズエラの軍事的緊張の高まり、不安定な中東情勢による資源価格上昇への懸念があり、先行きの景気は不透明な状況が続いています。

このような状況のもと当社グループにおいては、国内および中国、インドを除く海外で自動車生産台数が減少したことなどを受け、売上高は25,573百万円(前年同期比1.3%減)となりましたが、販売価格の是正、販売費及び一般管理費の抑制により、営業利益は1,671百万円(前年同期比50.2%増)となりました。経常利益は1,798百万円(前年同期比32.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,175百万円(前年同期比43.4%増)となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

#### ① 日本

特殊潤滑油部門は自動車生産が低調なことにより作動油などで販売が減少したものの、切削油剤の新規拡販やデータセンター向けハードディスク表面潤滑剤の売上高が増加したことで、部門全体の売上高は前年同期を上回りました。ホットメルト接着剤部門では、衛生材料用途の販売の減少により、減収となりました。素材部門は、販売価格の是正および主にポリスチレン可塑剤用途向けの需要回復により流動パラフィンが増収となったことで、部門全体の売上高は前年同期を上回りました。その他部門では、廃水処理装置の販売が減少したことにより減収となりました。

この結果、当セグメントの外部顧客への売上高は16,349百万円(前年同期比0.0%減)となりましたが、高付加価値品の販売増加、経費抑制によりセグメント利益は1,143百万円(前年同期比65.3%増)となりました。

#### ② 中国

特殊潤滑油は、日系自動車メーカーの稼働率が低下し、ダイカスト油剤で販売が減少しましたが、切削油剤などの売上高が増加したことで、増収となりました。ホットメルト接着剤は、フィルター用途などの売上高が減少したこと、減収となりました。

この結果、当セグメントの外部顧客への売上高は2,774百万円(前年同期比0.4%減)となりましたが、中国現地法人の再編による合理化が進んだことにより、セグメント利益は174百万円(前年同期比36.3%増)となりました。

#### ③ 東南／南アジア

特殊潤滑油は、作動油、ダイカスト油剤で販売が減少しましたが、新規拡販の進展により主に切削油剤の売上高が増加したことで増収となりました。ホットメルト接着剤は主要顧客での需要減少により衛生材料用途の売上高が減少したこと、減収となりました。

この結果、当セグメントの外部顧客への売上高は4,949百万円(前年同期比2.8%減)となりましたが、高付加価値品の販売増加および経費の抑制によりセグメント利益は213百万円(前年同期比14.1%増)となりました。

#### ④ 北米

特殊潤滑油は自動車生産台数の減少による主要顧客での需要の落ち込みにより、減収となりました。

この結果、当セグメントの外部顧客への売上高は1,500百万円(前年同期比11.2%減)となりましたが、子会社化したCROSS TECHNOLOGIES N. A. INC.との統合効果によりセグメント利益は119百万円(前年同期比0.7%増)となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて475百万円減少し、37,822百万円となりました。これは主に、現金及び預金が239百万円増加した一方で、有形固定資産が604百万円減少したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べて759百万円減少し、12,529百万円となりました。これは主に長期借入金が667百万円減少したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べて284百万円増加し、25,293百万円となりました。これは主に、為替換算調整勘定が489百万円減少した一方で、利益剰余金が762百万円増加したことによるものです。

## 2. 四半期連結財務諸表および主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

	(単位：百万円)	
	前連結会計年度 (2025年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年11月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	5,508	5,746
受取手形及び売掛金	7,005	7,102
電子記録債権	1,126	1,185
商品及び製品	4,044	3,859
原材料及び貯蔵品	3,082	2,854
その他	511	682
貸倒引当金	△16	△17
流動資産合計	21,260	21,411
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物（純額）	5,183	4,896
機械装置及び運搬具（純額）	2,141	1,873
土地	2,528	2,505
その他（純額）	563	537
有形固定資産合計	10,414	9,810
<b>無形固定資産</b>		
のれん	543	476
その他	828	768
無形固定資産合計	1,372	1,244
<b>投資その他の資産</b>		
固定資産合計	5,251	5,357
資産合計	17,037	16,411
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形及び買掛金	4,544	4,430
電子記録債務	456	532
短期借入金	3,177	2,800
未払法人税等	233	268
賞与引当金	537	307
その他	1,415	1,940
流動負債合計	10,362	10,276
<b>固定負債</b>		
長期借入金	1,940	1,273
退職給付に係る負債	548	539
その他	438	440
固定負債合計	2,926	2,252
負債合計	13,288	12,529

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年11月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
<b>資本金</b>	<b>2,118</b>	<b>2,118</b>
<b>資本剰余金</b>	<b>1,972</b>	<b>1,972</b>
<b>利益剰余金</b>	<b>15,273</b>	<b>16,035</b>
<b>自己株式</b>	<b>△649</b>	<b>△641</b>
<b>株主資本合計</b>	<b>18,714</b>	<b>19,484</b>
その他の包括利益累計額		
<b>その他有価証券評価差額金</b>	<b>145</b>	<b>204</b>
<b>為替換算調整勘定</b>	<b>2,210</b>	<b>1,721</b>
<b>退職給付に係る調整累計額</b>	<b>616</b>	<b>572</b>
<b>その他の包括利益累計額合計</b>	<b>2,972</b>	<b>2,497</b>
非支配株主持分		
<b>純資産合計</b>	<b>3,324</b>	<b>3,313</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>25,009</b>	<b>25,293</b>
	<b>38,297</b>	<b>37,822</b>

## (2) 四半期連結損益計算書および四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年11月30日)
売上高	25,917	25,573
売上原価	18,415	17,556
売上総利益	7,502	8,017
販売費及び一般管理費	6,390	6,346
営業利益	1,112	1,671
営業外収益		
受取利息	27	31
受取配当金	18	22
持分法による投資利益	157	137
為替差益	11	—
補助金収入	97	71
その他	52	36
営業外収益合計	362	297
営業外費用		
支払利息	51	39
為替差損	—	116
その他	64	15
営業外費用合計	115	169
経常利益	1,359	1,798
特別損失		
投資有価証券評価損	47	3
特別損失合計	47	3
税金等調整前四半期純利益	1,312	1,796
法人税、住民税及び事業税	408	509
法人税等調整額	△41	△2
法人税等合計	367	506
四半期純利益	945	1,289
非支配株主に帰属する四半期純利益	126	115
親会社株主に帰属する四半期純利益	819	1,175

## (四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年11月30日)
四半期純利益	945	1,289
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4	66
為替換算調整勘定	336	△556
退職給付に係る調整額	△37	△45
持分法適用会社に対する持分相当額	30	△50
その他の包括利益合計	333	△585
四半期包括利益	1,278	705
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,076	700
非支配株主に係る四半期包括利益	203	4

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

当社の連結子会社であった無錫德松科技有限公司は、2025年2月14日を効力発生日として、莫莱斯柯（浙江）功能材料有限公司を存続会社とする吸収合併により消滅したため、第1四半期連結会計期間より、連結の範囲から除外しております。

MORESCO LUBE MEXICANA S.A. DE C.V. を新規に設立したため、当第3四半期連結会計期間より、連結の範囲に含めております。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」（企業会計基準第27号 2022年10月28日）、「包括利益の表示に関する会計基準」（企業会計基準第25号 2022年10月28日）及び、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日）を第1四半期連結会計期間の期首から適用しています。これによる、四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高および利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	中国	東南／ 南アジア	北米	計		
売上高							
外部顧客への売上高	16,354	2,785	5,089	1,689	25,917	—	25,917
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,294	360	6	16	1,676	△1,676	—
計	17,648	3,145	5,095	1,704	27,593	△1,676	25,917
セグメント利益	691	128	187	119	1,124	△12	1,112

(注) 1. セグメント利益の調整額△12百万円には、セグメント間取引消去1百万円、棚卸資産の調整額△12百万円 および貸倒引当金の調整額△1百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年3月1日 至 2025年11月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高および利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	中国	東南/ 南アジア	北米	計		
売上高							
外部顧客への売上高	16,349	2,774	4,949	1,500	25,573	—	25,573
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,148	299	8	2	1,457	△1,457	—
計	17,497	3,073	4,957	1,502	27,029	△1,457	25,573
セグメント利益	1,143	174	213	119	1,649	22	1,671

(注) 1. セグメント利益の調整額22百万円には、セグメント間取引消去0百万円、棚卸資産の調整額22百万円および貸倒引当金の調整額0百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産および長期前払費用に係る償却費を含む。)およびのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年11月30日)
減価償却費	889百万円	843百万円
のれんの償却額	52	36

## (重要な後発事象)

## (連結子会社の解散および清算)

当社は、2025年12月12日開催の取締役会において、当社の連結子会社である天津莫萊斯柯科技有限公司の解散について決議いたしました。

## (1) 解散および清算の理由

グローバル生産体制の見直しに伴い、現地協力企業への製造委託と当社赤穂工場および当社連結子会社であるインドネシアの工場等への生産移管を段階的に進め、天津莫萊斯柯科技有限公司は解散し清算することいたします。

## (2) 解散および清算する子会社の概要

- ① 名称 : 天津莫萊斯柯科技有限公司
- ② 住所 : 中国天津市西青区王穩莊鎮同源道6号
- ③ 代表者の氏名 : 董事長・総經理 湯元 健志
- ④ 資本金 : 10百万米ドル
- ⑤ 事業の内容 : ホットメルト接着剤の製造、販売および輸出入

## (3) 解散および清算の日程

2026年5月迄(予定)に清算手続を開始し、現地の法令に従い必要な手続が完了次第、清算完了となる予定であります。

## (4) 今後の見通し

本件による、当社グループの連結業績に与える影響については、現在精査中であります。

## (連結子会社間の吸収合併)

当社は、2025年12月12日開催の取締役会において、当社の連結子会社であるMORESCO USA Inc. を存続会社とし、当社の連結子会社である CROSS TECHNOLOGIES N. A. INC. を消滅会社とする吸収合併を行うことについて決議いたしました。なお、2026年1月1日付で吸収合併手続は完了しております。

## (1) 企業結合の概要

## ① 結合当事企業の名称およびその事業内容

結合当事企業の名称	: MORESCO USA Inc.
事業内容	: 潤滑油の製造、販売および輸出入
被結合当事企業の名称	: CROSS TECHNOLOGIES N. A. INC.
事業内容	: 潤滑油の製造、販売

## ② 企業結合日

2026年1月1日

## ③ 企業結合の法的形式

MORESCO USA Inc. を存続会社、CROSS TECHNOLOGIES N. A. INC. を消滅会社とする吸収合併

## ④ その他取引の概要に関する事項

本合併により、営業および研究開発におけるノウハウの共有による競争力の強化、重複業務の統合を通じた業務効率の向上およびコスト削減を行うことで、収益基盤の強化を図ってまいります。

## (2) 会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 2019年1月16日）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 2019年1月16日）に基づき、共通支配下の取引として会計処理を実施する予定であります。

## 3. 補足情報

## (1) 製品およびサービスに関する情報

当第3四半期連結累計期間(自 2025年3月1日 至 2025年11月30日)

外部顧客への売上高	金額(百万円)	前年同期比(%)
特殊潤滑油	14,987	101.0%
素材	3,322	105.5%
ホットメルト接着剤	5,784	91.7%
エネルギー貯蔵材料	216	116.1%
その他	1,263	87.7%
合計	25,573	98.7%

## (2) 海外売上高

当第3四半期連結累計期間(自 2025年3月1日 至 2025年11月30日)

	アジア	北米	その他の地域	計
I. 海外売上高(百万円)	8,839	1,708	147	10,694
II. 連結売上高(百万円)				25,573
III. 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	34.6	6.7	0.6	41.8

(注) 1. 地域区分は、地理的近接度により区分しております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

アジア……………中国、インドネシア、タイ、マレーシア、インド

北米……………米国、メキシコ

その他……………アラブ首長国連邦、南アフリカ共和国、オーストラリア

3. 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。